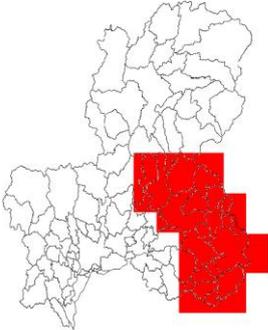


ササバギンラン	<i>Cephalanthera longibracteata</i> Blume	絶滅危惧Ⅱ類
		ラン科
選定理由	園芸目的の採取圧がある。	<p>写真(山崎玲子)</p>   <p>※生息地保全のため、広範囲の分布図を表示しています。</p>
形態の特徴	高さは30-50cm。狭長楕円形の笹に似た葉が茎に6-8枚付く。葉の裏面や縁に短毛状の突起がある。苞は細長い。白色の花を数個付ける。唇弁の距は短く突出する。花期は5-7月。	
生態的特徴	標高の高い山地の樹林下に生える。	
分布状況	北海道、本州、九州、四国に分布する。岐阜県では飛騨地方、美濃地方の中北部と東南部に分布する。	
減少要因	園芸目的の採取による。	
保全対策	採取の禁止。分布情報を公表しないことが望ましい。	
特記事項		
参考文献		

文責:山崎玲子